

各 関 係 機 関 の 長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和 8 年度技術情報第 17 号（チャのカンザワハダニ）について（送付）

下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いいたします。
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



令和 8 年度 技術情報第 17 号

8 月下旬の巡回調査においてチャのカンザワハダニの発生ほ場が平年より多く認められている。
秋期の発生は秋芽の充実を妨げ、翌年の発生源になるので、発生が多いほ場では防除を行う。

- 1 農作物名 チャ
- 2 病害虫名 カンザワハダニ
- 3 発生地域 県本土
- 4 発 生 量 多
- 5 発生状況及び情報の根拠

- (1) 8 月下旬の巡回調査において、県全体の発生ほ場率 87%（平年 42%）、寄生葉率 12.5%（4.3%）といずれも平年より高く（図）、発生程度の高いほ場が認められた（表）。
- (2) 向こう 1 か月の天候予報では気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並みと予報されており、今後も好適な条件がしばらく続くため、現時点で発生が多いほ場では秋期の発生量が多くなる恐れがある。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 発生の多いほ場では、成虫・幼若虫・卵のいずれのステージにも効果のある殺ダニ剤で防除を行う。
- (2) カブリダニ類など捕食性天敵の活動が活発な時期になるので、薬剤は天敵に影響の少ないものを使用する。
- (3) 薬剤は、葉裏や裾部に薬液が十分付着するように散布する。

7 参考データ

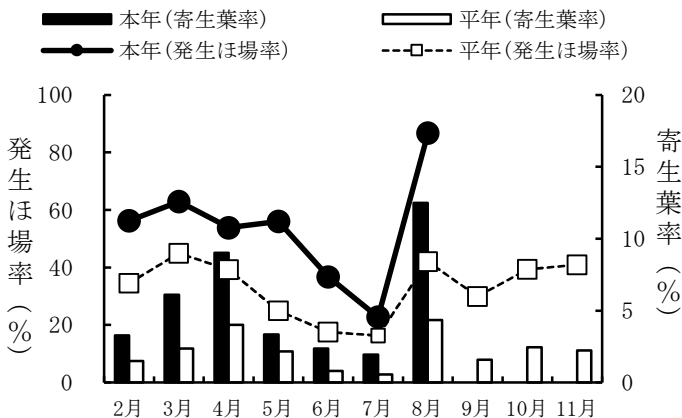


図 カンザワハダニの発生ほ場率と寄生葉率の推移

表 カンザワハダニの8月下旬の地域別・程度別の発生ほ場率

地域	発生ほ場率(%)		発生程度別ほ場率(%)				
	本年	平年	甚	多	中	少	無
南薩	94	37	0	6	31	56	6
北薩	80	53	0	30	30	20	20
大隅	75	45	0	0	13	63	25
県計	87	42	0	9	27	51	13

注1) 発生程度別基準：各ほ場の寄生葉率で評価

甚：71%以上、多：31～70%、中：11～30%、少：1～10%、無：0%

注2) 県内17地点34ほ場（調査地点及び区分は以下のとおり）を8月12～20日に調査

南薩：薩摩中南部（8地点16ほ場）

【南九州市頴娃町牧之内(谷場)・頴娃町上別府(青戸)・知覧町塩屋(菊永)・知覧町郡(後岳)・川辺町下山田(塘池)】

【南さつま市加世田内山田(東山)、枕崎市別府(中原)、日置市伊集院町古城(飯牟礼)】

北薩：川内川中流域・霧島山麓（5地点10ほ場）

【さつま町船木(舟木)、出水市平和町、霧島市溝辺町麓(論地)、霧島市牧園町三体堂、曾於市末吉町岩崎】

大隅：大隅中南部（4地点8ほ場）

【志布志市有明町野井倉・有明町原田、鹿屋市東原町、錦江町城元】